

# 麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【出生に伴う記念樹交付の終了について】

郡山市にお住まいで、お子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしていましたが、平成25年度をもって終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

<b>プレゼント対象者</b>	郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。
<b>申請方法</b>	申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)
<b>申請期間</b>	出産後1年以内
<b>申請窓口</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194</li> <li>・郡山カルチャーパーク 024-947-1600</li> <li>・郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361</li> <li>・各行政センター</li> </ul>



## ガーデニングポイント

**【水やり】** 8月の中旬から降雨があり、植物は一息つく事が出来ました。鉢植えの場合は、すぐ乾燥してしまうので、こまめの灌水が必要です。地植えで植え替えた場合は、根づくまで水の管理が必要です。**根元を腐葉土などでマルチングをして乾燥を防ぎます。**あげ方のポイントは**乾いてきたら、樹冠全体にたっぷり**あげます。これは、葉の表面の汚れや病害虫を洗い流す効果もあります。水をあげるタイミングは、表面の土の乾き具合を見て判断します。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かず、すぐ乾いてしまって枯れる原因にもなります。**水の量は、地中深く根に届くまでどっぴりとあげます。**水やりは、**朝にあげるのがベスト**です。ただし、長雨や大量の降水量によって、根が窒息して弱り枯れてしまう根腐れの状態になる場合があります。

**【肥料】** 草花を植える時は、①元肥として生育を続けさせる場合と②追肥として肥料が必要になる場合があります。多くの種類の樹木は、必要ありません。ポタンは、秋が植え替えの適期なので、元肥または追肥として有機質肥料をあげます。



## 植物から秋の気配を感じます

**【病害虫防除】イモムシ類が発生しています。**アメリカカシロヒトリは年2回発生し、その2回目が発生しています。**早めの退治が重要**です。拡がる前なら、枝を切って退治することも可能ですが、折角の樹形が乱れてしまいます。殺虫剤の効果が高い、薬剤散布を行います。マツ類には、マツカレハの幼虫がついています。幼虫が越冬し今の幼虫の親となります。まだ小さいこの時期に退治します。マツカレハの繭でも痒みなどの症状がでます。葉と同じ色をしたイラガが葉裏についています。この虫にも触ると酷い痒みの症状がでます。郡山市近郊では少ないですが、サザンカやツバキにチャクガがつきます。この毒は、非常に激しい痛みが生じます。アブラムシやカイガラムシも続けて発生しています。特にカイガラムシは、発生初期に薬剤を使用すると効果的です。ロウムシの場合は、へらなどで剥がしとると退治出来ます。アブラムシには100%でないですが、土壌に撒いて吸収移行して効果がある薬剤もあります。特に、草花などに向きます。(アセフェート粒剤です) マツ枯れの原因になるマツノマダラカミキリも成虫になって飛んでいます。マツの新梢をかじる後食により、マツノザイセンチュウが樹体内に入ってマツを枯らします。スミチオン乳剤などの散布が、効果的です。ハナミズキやサルスベリに

うどんこ病が発生しています。過ごしやすい季節になると、逆に菌が活発になり増えてしまいます。そうすると秋の紅葉は、望めなくなります。またアブラムシやカイガラムシなどの排泄物によるすす病が発生しています。樹木の下で構造物までも黒くなり、美観も損なわれます。すす病を治す薬はないので、害虫を退治するしかありません。

病気は、予防が一番ですから、①早めに殺菌剤の散布 ②混み合っている枝の剪定をして通風を良くする。③強い水流の水をかけて樹上の害虫や菌を払い落とす。このような点に留意して予防してください。

【剪定】これからの常緑樹は、剪定後の萌芽が弱くなります。また、サザンカやツバキをはじめ多くの樹種で蕾や花芽が出ていますので、強い剪定は避けたほうがいいでしょう。剪定を早く

行くと、来年の芽吹きが違ってきます。針葉樹も強い剪定は芽どまりをおこし、その枝が枯れたり芽吹きが悪くなります。落葉樹は、落葉後まで待ちます。その時期に応じて剪定に強弱をつけます。剪定後は樹冠全体にこまめに水をかけたりして、乾燥から守ります。美観を目的に剪定をするのではなく、「樹木は生き物」という概念を忘れてはいけません。植物は、これからの時期に光合成を行って糖を蓄えて成長し越冬します。強剪定は、街路樹などで見かけますが、それがいかに植物に大きなリスクを背負わせているか、忘れてはいけません。

【植え替え】この時期は、常緑樹の移植が可能です。キンモクセイやサザンカは早めに植え込んで花を楽しむ事ができます。ただし、灌水は忘れずに行います。落葉樹は、落葉後まで待ちます。ポタンは、この時期が植え替えの適期になります。



【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催 樹木医の先生がお答え致します。	
次回開催日時	教室名	内容	定員
10月13日(月) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	・記念樹の育て方初歩講座 (季節の管理ポイント) ・落葉樹の剪定	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

### これは何？

右の写真はエゴノキです。初夏に白い花が咲き今は実がついています。実にはエゴサポニンという胃腸障害をおこす物質が含まれています。写真の左に写っている物が解りますか？花のような形をしています。しかし、花ではなくアブラムシによる虫こぶです。猫の足のような形をしているこの虫こぶは、ネコノアシアブラムシが作ります。



樹木名【エゴノキ】

### 街で見かけた植物



#### ファイリヤブラン【ユリ科】

耐寒性多年草でグランドカバーに使われます。日本、台湾、中国の原産。光沢のある斑入りの葉が地際から束になって出ます。この時期、葉の間から紫色の穂状の花をつけ、和洋どちらの庭にも向き多くの場所で利用されています。耐寒性があり、直射日光下では葉が焼けて茶色になるので、半日陰のほうが綺麗な葉になります。春先に前年の葉を切り取ると、新葉だけの綺麗な株になります。郡山市近郊の山林の中には、緑の葉のヤブランが自生しているのを見かけます。植え替えは、春先が一番向いています。

